

# PART 4

## ～制服モデル撮影①～

# 数日後

ミスコンの「運営委託会社」から連絡を受けた栞。出場時の契約書に従い、ミスS学園として「制服モデル」の撮影を求められる。契約書の控えを確認すると、確かにその記載があり、やむなく指示されたスタジオに向かう……

『S学園ミスコンの義務として、制服モデルをすることになつた栞。スタジオに到着、まずは事務室へ』

【マネージャ・二木佳宏】「君がミスS学園の涼川栞さんだね。今日はよろしく！」

【カメラマン・須藤哲也】「撮影を担当する須藤です。さすがミスS学園、可愛いね」

「いえそんな……今日はよろしくお願ひします（ちょっと緊張するけど、紳士的な人たちでよかつた）

「確認ですが、今日のギャラは3万円でよろしいですね？」

「あれ、契約書の別途仕様書、見てないのかな？」

「はい……そんなに戴くのはちょっと困るんですけど

「まあ、契約書にはサイン貰つてあるから、今さら変更はできないですが、正当な対価ですから」

「大丈夫、僕の言うとおりにしてればすぐ終わるから」「いい太ももしててるな、栞ちゃん（笑）」



《スタジオに移動。カメラマンの須藤を見たスタッフたちに緊張が走る》

「それじゃあ撮影を開始します……よろしくね、栢ちゃん」

「はい、皆さま、よろしくお願ひします」  
（いきなりちゃんづけなんて……）

「それじゃあ、適当にポージングして」「え、ポージングつて……」

「君、モデルの経験ないの？」

「はい……」

「なんだよ、時間ないのになあ……」（軽く舌打ち）



『苛立つ須藤に、さらにスタッフが緊迫した雰囲気に』

「申し訳ありません、モデルの経験はないのでうまくできないと思います。3万円はいりませんから、モデルはキャンセルさせてください」（なんで舌打ちされなきやいけないのよ……）

「君、何か勘違いしてる？ この撮影は、ミスS学園の権利じゃなくて、義務なんだよ」

「え、義務って……」

「もしキャンセルしたら、今日の撮影に係る設備費・スタッフ費用の20万円は即金で払つてもらうよ」

「そんな！ そんな大金、持つていません」

「それに、文化祭でのミスコン運営費用の当社負担分も請求するからね……確かに、300万円くらいかな」

「そんなの、無理です……」

「君も18歳なんだから、契約に責任持たないとね？」



『マネージャは退室。苛立つ須藤を前に困惑する栞』

「……まあ、仕方ないか。おい、あれを見せてやれ」

『女性スタッフ』「はい、ポーズ集ですね」



『女性スタッフがノートPCを持ち、栞の斜め前にしゃがんで画面を見せる』

「大丈夫よ。この画面のとおりにすればいいから」

「はい！」

『本当はオリジナルの方がいいんだが、仕方ないな』

『バシヤバシヤっと音を立ててシャッターを切る』

『表情硬いよ、ポーズに合わせて気持ちを込めて！』

《撮影が進むにつれ、自然な表情ができるようになる》

「じゃあ、好きな男子に朝の挨拶するイメージで……  
お、いい笑顔だねえ！」

（良かつた、機嫌が直ったみたい……）

「うんうん、可愛いよ、栞ちゃん」

《バシヤバシヤバシヤツとシャツター音が響く》



「それじゃあ次は、ちょっと大人の雰囲気で」

「はい」《視線を受けた女性スタッフがPCを操作》

（え、そんなポーズしたら、足が見えちゃう……）

「あのさあ、早くしてくれるかなあ？　今日はもう一つ、  
大事な撮影があるんだから」

「は、はい……」（やるしかないのよ）

「お、いいねえ！ 挑戦的な目もいいよ！」 《上機嫌でシャツスターを切る》

（やつぱり脚が付け根まで露出してる……早く終わつて）

《10分ほど撮影を続け、様々なポーズを撮影》  
「よし、このくらいでいいかな……」



（はあ、やつと終わった……）

「それじゃあ次の服に着替えて」

「え、もう制服姿は撮影しましたよね？」

「制服モデルの撮影ってのはさ、制服を着ている子の日常を撮影つてことだよ。制服だつて他にもあるんだし。契約書にも制服等の撮影、つて書いてあるだろ？」

「そ、そんな……」

「いやならいいけど、違約金払つてもらうよ」

《控室で着替えさせられた栞》

「ほう。やっぱりセーラー服が似合つてるな」

「はい、このポーズね」

「は、はい……」《両手を頭の後ろに回し、ウインクしながらキス。ポーズ》



「いいねえ、全国の男子が君に惚れるよ」

「え、もしかしてこれ、販売されるんですか?」

「出来によるけど、少年マンガのグラビアもあるかもな」

「そ、そんなの困ります!」

「君、すごい自信だねえ。ミスS学園だからってさあ」

『次の服に着替えた栞。顔を赤らめて抗議』

「こんなの困ります。今時ブルマーナンて」

「何も分かつてないんだねえ……撮影にはアパレル会社もス。ポンサーになつて、提供された製品を着て見せる義務があるんだよ……契約書にあつたろ?」

「はい、このポーズ」

「は、はい……」



「お、いいねえ、太ももがエッチだよ」

(ひどい、これじゃあエッチなグラビアじゃない)

「可愛い笑顔もいいけど、男を誘うような顔もしてくれる?」

「いい加減にしてください! そんなことできません」

「君ねえ……ま、いいか。次、もう一つのブルマ!」

『控室に向かった栞がなかなか戻って来ない。女性スタッフを呼びに行かせて、やっと出てくる』

「おい、着替えくらいさつさとしてくれ。次のモデルが来ちゃうんだよ」

「でも、こんなの無理です」

「ただの色違いだろ。今さら恥ずかしがるな」

「でも……」



「いいから、さつさとボーズを取れ！」

『足元の空き缶を蹴飛ばす須藤。大きな音が響き、スタジオが緊張に包まれる』

「栞ちゃん、頑張つて。大丈夫だから」

「は、はい……」（ああ、どうしたらいいの）

『ゆつくりと両手を動かし、ポーズをとる栞。ぎこちな  
い笑みを浮かべ、須藤を見つめる』

「ショーツが見えてしまっているので、無理なんです」  
（ハイレグブルマなんて、ひどい……）

「なんでそんなパンツはってきたの？ モデルするなら、  
ハイレグTバックが当たり前だろ？」

「そんなこと、知りませんでしたし」

『須藤の舌打ちと溜息が響く』



「こつちは本気なのに、遊び気分の素人モデルじゃ、  
やつてらんねえなあ。ボーズはそのまま！」

『パンティが見えている栞にフラッショウを浴びせる』

「やっぱこれじゃあ使えねえか……脱いでくれる？」

「……え？」

「須藤さん、次のモデルさん、少し早いですけどいらっしゃいました」

「え、もう？ ジャあ、控室で待つてもらつて」

『時計をちらりと見た須藤。渋面を栞に向ける』

「君がぐずぐずしてゐるせいで控室はもう使えないぞ。その場で脱いでくれ」

「そ、そんなの、無理です！」

「仕方ないなあ……おいお前、脱がしてやれ」

「はい！」「きやああつ！」



『逃げようとする栞を男性スタッフ二人が羽交い絞め。両手を縛り、天井の梁に繩で括りつける。抵抗できなくなった栞のブルマーを引き下し、さらにパンティに手をかける』

「ほう、リボン付き。ピンクパンティか……子供だな」  
『パシヤパシヤツとシャツタ一音が響く』

「撮らないでください！ ほどいてください！」

「自分で脱ぐか？ このまま脱がしてもらうか？」  
「分かりました！ 自分で脱ぎますから！」

「その前に、いくつか確認させてもらおうか」

「確認つて……自分で脱ぐと約束しますから！」

「そうじやなくて……まずはブラを見せてもらおうか」

『目で指示されたスタッフが体操着を捲り上げる』

「きや、きやあつ！」

「おいおい、モデルがブラ見られたくらいで騒ぐなよ  
……やっぱり、ストラップレスじゃないんだな」

「すみません、知らなかつたんです！」

「じゃあそれも自分で脱ぐんだな？」

「……分かりました。早くほどいてください」



『栞の懇願を聞き流し、ブラとパンティが露出した姿を  
様々な角度から撮影する須藤』

（あはは、下着だけで死にそうな顔しちゃつて）  
「おい、目を開けてにつこりしないと終わらないぞ」

「そ、そんな……』『ぎごぎなく笑う栞』

「だいたいさ、そんなに恥ずかしがつてたら撮影が進まないんだよ」

「自分で脱ぎますし、これからは恥ずかしがりません！」

「その約束、信じていいんだろうな？」

「はい、もちろんです……きや、きやあつ！」

『スタッフが栞の左足を握り、思い切り持ち上げる』  
「きやあつ！ やめてえ！」



『左足は垂直に持ち上げられて縄を掛けられ拘束』  
「おお、きれいなY字だな！」 『パシヤパシヤツ』  
「ちよつと、ひどい！ ほどいてください！」  
「……体操着が邪魔だな。切つて取っちゃえ」  
「いや、やめてえ……」

『ジョキジョキ体操着を切られて取り去られる』

『ブラとパンティだけの姿でY字拘束。呆然とする栞』  
「ひ、ひどい、こんなの……」 『腰を振りながら涙目』  
「お前の覚悟が足りないからだぞ。につこり笑えよ」  
「そ、そんな……」 『ぎこぎなく笑う栞』  
「これからは恥ずかしがらないって約束したよな。これくらいのポーズで笑えなくてどうする？」  
「お願いです、恥ずかしがらずにちゃんとしますから」「それじゃあ、その恰好のまま、ニッコリ笑顔で宣誓してもらうぞ」

# PART 5

～制服モデル撮影②～

『手足を拘束され、少しでも逆らえば下着を剥かれる栞。女性スタッフが掲げた宣誓書を作り笑いで読上げる』

「私、私立S学園2年1組の涼川栞は、今回のモデル撮影にあたり以下について誓います。

・指定された衣装等については異議を申し立てず、全てを適切に着用・使用します。

・撮影者・撮影方法については御社の指示に従います。



- ・私の不手際で適切な下着を着用していなかったため、今後の衣装撮影は全て、ノーパン・ノーブラで行います。
- ・今回撮影のデータの著作権等は全て御社に帰属します。
- ・今回の撮影に関しては守秘義務を守り、御社に不利になる情報は外部には一切提供しません。

- ・前項のいずれかに違反した場合、即座に違約金及び賠償金を支払うこととし、その他の不利益についても一切の異議を申し立てません

「よし。まずは、証人の皆さんに挨拶してもらおうか」

「え、証人つて……きや、きやああつ！」

『急に現れた6人を見て、顔を引きつらせて悲鳴をあげる栂』

【由愛】「ねえ、私も撮影していい？」

【結花】「うわあ、涼川さん、素敵なお恰好ね（笑）」



「い、いやあつ！ みんな、見ないで！ 撮っちゃ駄目えつ！」

『体を捻らせて拘束から逃れようとする栞』

【洋】「うわ、いきなりエロダンスで歓待！（笑）」

「相変わらずいいオツパイ」「太もも丸見え（笑）」

「どうして、結花さん達と写真部がいるんですか！」

「おいおい、お前の撮影が遅いからだぞ。お嬢様はこの次に撮影するモデルさん」



「お嬢様って……」

「園城寺家と言えば、芸能界で知らない者はいないぞ。このスタジオの運営会社もこの前、園城寺グループに買収されたからな。準ミスだから、お前の次の撮影」「やめてよ、須藤さん。私、親の七光りでモデルしてるつもりはないんだけど」

「もちろんです、お嬢様自身に魅力があるからですよ」

「今の宣誓、私たちも確かに証人になるわ。それで、私たちも撮影スタッフに加わつて良いのかしら？」

『繩を解かれ、6人への「ご挨拶」を強要される栞。逃げたら全員で捕まえて全裸にすると脅される』

「園城寺さん、東山さん、北原さん、宮田くん、西田くん、南川くん……今回の私のモーテル撮影にご協力、ありがとうございます。皆さまの指示には絶対に従います」

「『指示を拒否した場合、その場で全裸にされて撮影され、公開されても異議を申し立てません』も追加して」

「……皆様の指示を拒否した場合、その場で全裸にされて撮影され、公開されても異議を申し立てません」

「よろしくね、栞ちゃん」「須藤さん、俺たちの先輩だから見学しにきたんだけど、ラッキー（笑）」「きれいで撮つてあげるからね」

「それじゃあ、私たちも服を指示していいんですね」

「まずノーパンノーブラになつてからね（笑）」

「すつごーい。栞ちゃん、結構大胆だね（笑）」



『スタッフがホワイトボードを持ってくる』

「うん、着替えるときだけ出すから、そこで脱いで」

「ここで、ですか……」

「あれ、指示に逆らうの？ 裸にしてほしい？」

「いえ、分かりました……あの、着替えは？」

「脱いだら渡すから」

「はい……」

「初脱ぎ頑張つてー」

「脱いだ下着はボードの両端にかけて」

「そんな！……はい」



「脱きました……着替えをお願いします」

「撮つてやるからそう焦るな」

「そうよ。せつかくなんだから」

「视線こっちにくれる？」

「笑つてー」

（ひ、ひどい……写真部の皆さん……）

「両手で隠さない！ 頭の後ろに！」

「そうだ、そのまま少し待つて」

# 『菜月が椅子から立ち上がり、ホワイトボードの前へ』

「せっかくだから、記念の言葉を書いてあげる」「え、変なこと書かないで……」

「あれえ、撮影方法に異議申し立てるつもり?」

「いえ……」

ミスS学園の涼川菜(18)です!  
脱ぎたて売ります♥  
ブラ: 1万円  
パンティ: 2万円

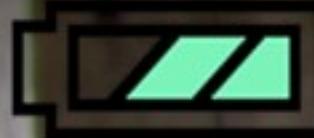
・生写真も買ってね!  
制服姿: 1千円  
下着姿: 3千円  
オッパイorお尻露出: 5千円  
すっぽんぽん: 7千円



『ホワイトボードにピンクのマジックで勝手なコメントを書く菜月。笑いを噛み殺すギャラリー』

「おい、皆様に向かつて今の恰好を言ってみろ。エッチにな」『すかさず女子スタッフが「メントを提示』

(そんな)」「涼川菜は、今、何も着ていらない、素つ裸です……脱ぎたてのブラとパンティはこちらです」「よくできましたあ。次の服、そのまま待つて



REC

(あとで生で見せてもらうけどね (笑))  
(可愛いお尻丸出し! (笑))

1080p 45min 1/60 F3.5

1600×900 HQ

00:40:28

(後ろからもばつちり録画されてるって  
知つたらどんな顔するかしら (笑))

# PART 6

～制服モデル撮影③～

『由愛が渡した服は先ほどのハイレグブルマ』

「いいケツだな。もっと突き出して！」 『パシヤパ  
シヤ』

「は、はい』（裸にブルマなんて、ひどい……）

「ふふ、お尻強調しちゃって！」

「見とれちゃう！」「羨ましいなー」



「ノーパンブルマ、いいねえ！」 『パシヤパシヤ』

「こっち見て笑つて」「可愛いよ」 『パシヤパシヤ』  
（ケツにブルマ食い込んでたまらん（笑））  
（太もも真っ白でエロいなー）

「それじゃあ次、水着いくぞ」

『渡された水着を着て、もじもじ恥じらう栞』

「あの、これ……生地が薄いと思うんですけど」

「え、いいじゃないか」

「スク水も似合うわね」「可愛いじゃん」

「それで体育の授業受けたら男子喜ぶよ（笑）」

「ほら、につこり笑顔！」

「は、はい！」



「最高だよ、栞ちゃん」『パシャパシャ』

「スク水いいねえ！」「いいよー」『パシャパシャ』  
（ちょっと透けてる？）（乳首見えてるような（笑））

「……よし、次の水着」

『由愛が渡した服は可愛いピンクのビキニ』

「おお、いい表情、可愛いよ！」『パシヤパシヤ』

「ありがとうございます」（こんなボーッズ、恥ずかしい  
！）

「ふふ、さすがはミスS学園ね！」

「見とれちゃう！」「羨ましいな」



「おお、涼川さんがビキニ！」「可愛すぎ！」

「こっちにも視線ください」『パシヤパシヤ』

（でも、さつきのY字拘束が刺激的すぎたな（笑））

『さらに行くつかの水着で可愛いボーズを撮影。徐々に  
栞の表情が活き活きとしてくる』

（やつぱり恥ずかしい……早く終わって）

「よし、それじゃあ次、下着いつてみよう」

『最初の下着はピンクの模様入り』

「やつぱりピンクが似合うねえ」

「ありがとうございます」（これは制服モデルじゃない  
と思うけど……指示に従わないと裸にされちゃう）

「お、ちょっと大人っぽい表情！」

「おっぱいも大きくていいなあ」「おへそも可愛い！」



「ついに下着か」「やつぱりいいな、栞ちゃんの身体」

「結構ノリノリだな（笑）」『パシヤパシヤ』

「次はこのポーズ。お尻を可愛く見せて」

「はい……」（ちょっと恥ずかしいな）

『膝立ちで後ろを見せ、振り返って見せる栞』

「いいよいよ！ 恥じらいの表情も最高！」

「ありがとうございます」（やだ、写真部のみんな、お尻にカメラを向けてる…）

「もう、可愛くてかなわないなあ」

「お尻もふりつとしてるね」「いいなあ」



「恥ずかしがる栞ちゃん、たまらん！」「ケツ最高」

（実はさつき見てるけどな（笑））『パシヤパシヤ』

「時間もないから巻きでいくよー。今度は大人っぽく、黒でいこうか」

「はい…」（時間がないって、もうすぐ終わるのね）

## 『初めての座りポーズにためらう栞』

「これでいいですか……」

〔なんかちょっとエッチなポーズ……〕

「んー、もうちょっと色っぽくできないかな」

「ちょっとぎこちないわねえ」

「カメラを見てるだけって感じ」

「もっと気持ちを込めた方がいいよ」



「十分可愛いけどな！」「エロさは足りないな（笑）」

〔いよいよ、エロパートだな！〕『パシヤパシヤ』

「んー、どんどんポーズ試して、慣れていくこう」

〔はい……〕『指示されたポーズに顔が引きつる栞』

〔拒否したら全裸にされる：尻を高く上げて脚を震わせる業〕

「あの、見えてませんか？」  
（恥ずかしくて死にそう……）

「アソコなら見えてないぞ」

「うわ、すつごい恰好！」

「私、絶対できない（笑）」

「見てるだけで恥ずかしい」

「おい、目を開けろ！」

「おお、涼川が四つん這いケツ上げ！」

「後ろから撮っちゃおうっと」

「だ、ダメえっ！」

「こっちにも笑顔で視線ください」

「よし、こんなもんかな」

「先生、そろそろお時間が……」

「うん、このくらいにしどくか」（今日はな

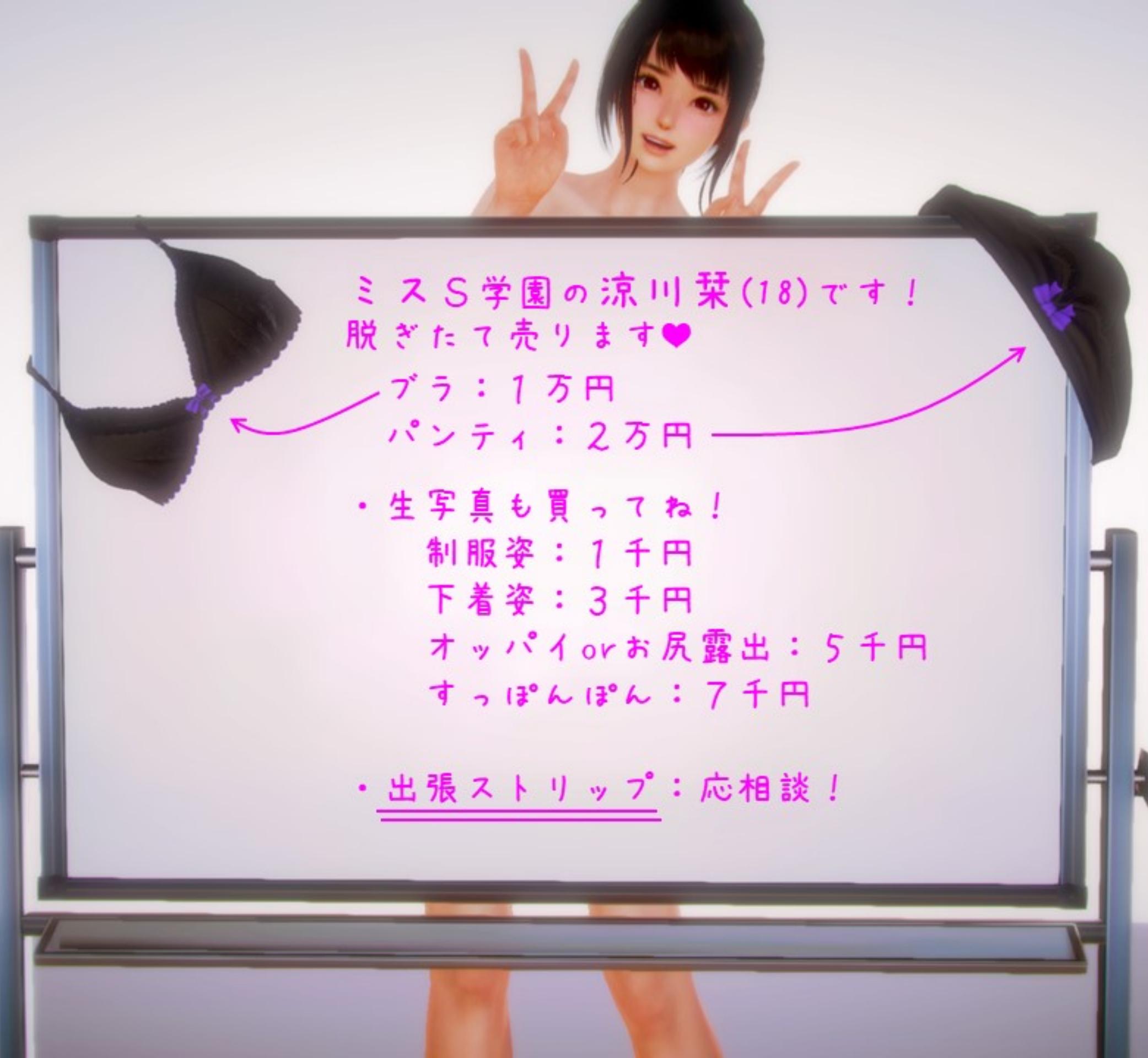
（ああ、やつと終わったのね……）



『ほつとした栞、再び下着を脱いでボードに掛ける』

「脱ぎました。制服をください」（やつぱり裸は恥ずかしい。早く服を着て帰りたい……）

「そう焦るな。そこでにつっこり、ダブルピースでもしてみせろよ」



ミスS学園の涼川栞(18)です！  
脱ぎたて売ります♥

・ ブラ：1万円  
パンティ：2万円

・ 生写真も買ってね！  
制服姿：1千円  
下着姿：3千円  
オッパイorお尻露出：5千円  
すっぽんぽん：7千円

・ 出張ストリップ：応相談！

（いつまで弄ぶつもり？）「これでいいですか？」

「ああ。最後に、後ろの壁を見て挨拶してくれ。思い切り笑顔でだぞ！」

『女性スタッフがセリフを見せる』

「壁を見てですか？」はい……」（変なの。でも、これで終わりなんだから）



REC

「S学園2年1組の涼川栞、18歳です。  
すっぽんぽんで撮影、最高でーす！」  
(壁に向かって、馬鹿みたい!!)

1080p 45min 1/60 F3.5

00:40:28

©ILLUSION

(ふふ、カメラに素っ裸でご挨拶！(笑))  
(すっぽんぽん写真7千円、頂きいつ！)  
(全部撮られてたつて知つたらどんな顔する  
んだろう……楽しみ！(笑))

1600×900 HQ

## 使用したプログラム・素材等

- 本作品は、ILLUSIONの「ハニーセレクト～コンプリートパック～」を使用して作成しています。[\(http://www.illusion.jp/preview/honey\\_party/index.php\)](http://www.illusion.jp/preview/honey_party/index.php)
- また、イリュージョン公式ページに投稿のキャラデータやシーンデータを活用しています。その他、個人HPに掲載の服なども使用しています。各作者の方に感謝いたします。
- 本作品のコンテンツの著作権は ILLUSIONに帰属し、販売等は認められていません。転載・販売等は行わないようお願いします。